

株式会社ニレコ(6863) 2019年3月期 決算説明資料

2019年5月17日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

業績推移

18/3期

19/3期

20/3期計画

実績及び計画

受注高	8,695百万円 (前期比+15%)	受注高	9,325百万円 (前期比+7%)	受注高	9,300百万円 (前期比▲0%)
売上高	7,911百万円 (前期比+7%)	売上高	8,441百万円 (前期比+7%)	売上高	9,000百万円 (前期比+7%)
営業利益	705百万円 (前期比+31%)	営業利益	898百万円 (前期比+27%)	営業利益	950百万円 (前期比+6%)

重点テーマ

- ◆ 市場の拡大
- ◆ 技術の進化
- ◆ 株主還元

いかなる環境下においても成長できる体制の実現

事業基盤の拡大強化

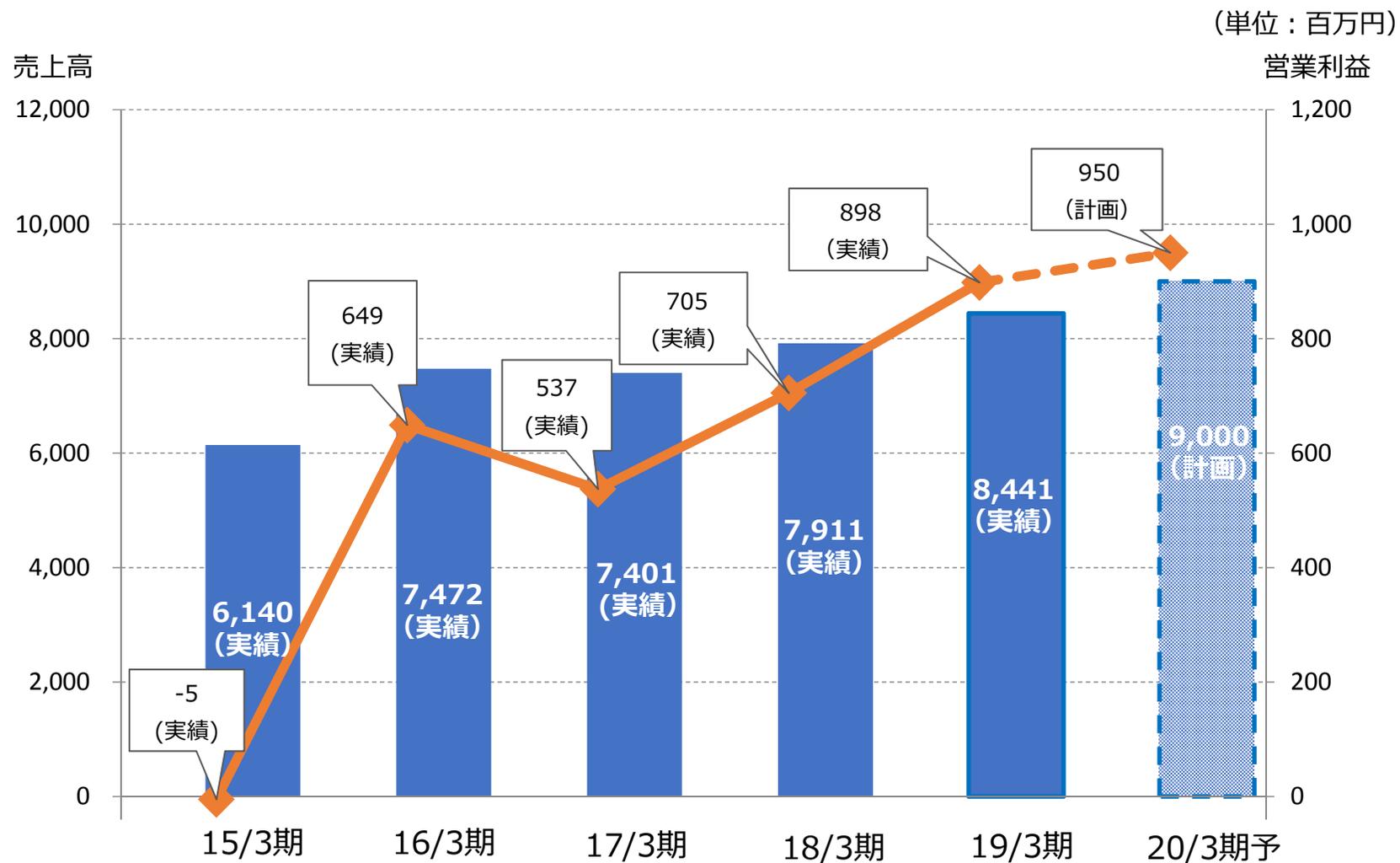
競争優位性の向上

19/3期の取組み

- 韓国、中国子会社の体制整備
- 二次電池、電子部品向け検査機事業の開拓
- 次世代画像処理ボードの開発

安定配当の維持を基本に配当性向35%を目標

業績推移



棒グラフ：売上高 折れ線グラフ：営業利益

1. 前期実績
2. 今期計画
3. 持続的成長に向けて

1. 前期実績 (2018/4 – 2019/3)

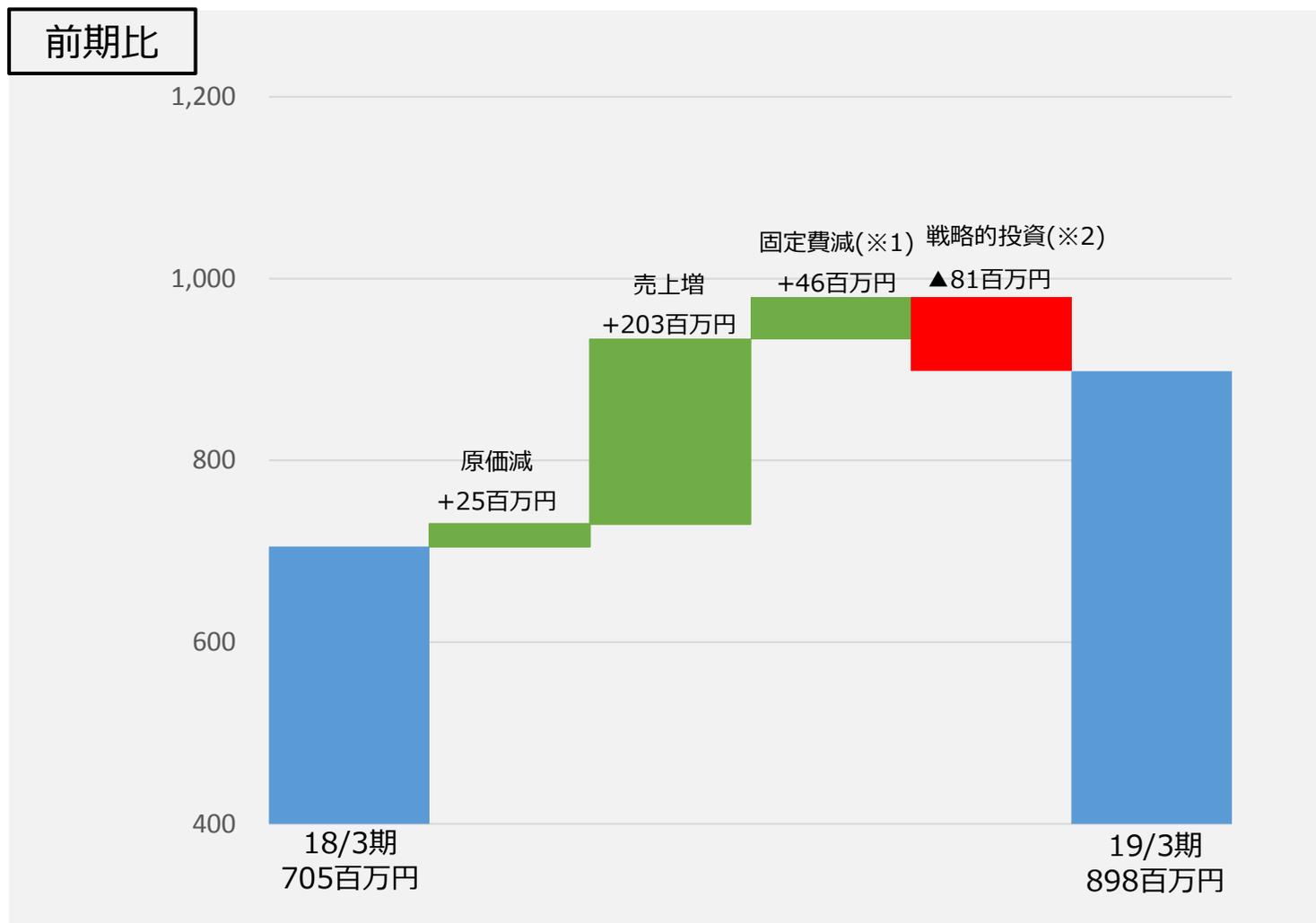
連結実績

➤ 受注高・営業利益・経常利益が前期比・計画比で上回る

(単位：百万円)

	18/3期	19/3期		増減率	
	実績	計画	実績	前期比	計画比
受注高	8,695	9,000	9,325	+7%	+4%
売上高	7,911	8,600	8,441	+7%	▲2%
営業利益	705	810	898	+27%	+11%
営業利益率	8.9%	9.4%	10.6%	-	-
経常利益	784	860	1,011	+29%	+18%
経常利益率	9.9%	10.0%	12.0%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	516	560	489	▲5%	▲13%
当期純利益率	6.5%	6.5%	5.8%	-	-
1株当たり当期純利益(円)	69.79	75.51	66.07	▲5%	▲13%
受注残高	2,941	3,341	3,824	+30%	+14%

営業利益増減要因



※1.固定費 = 販売費及び一般管理費 (研究開発費除く)

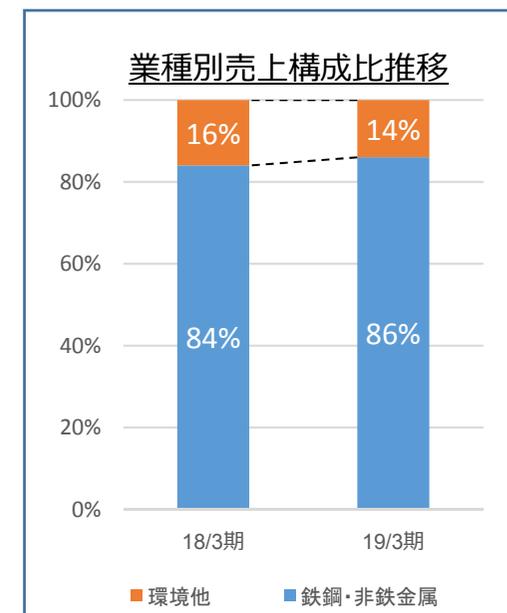
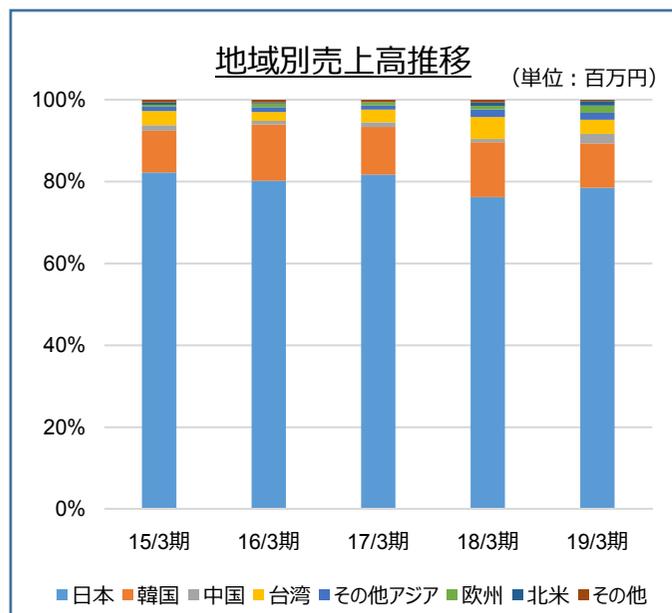
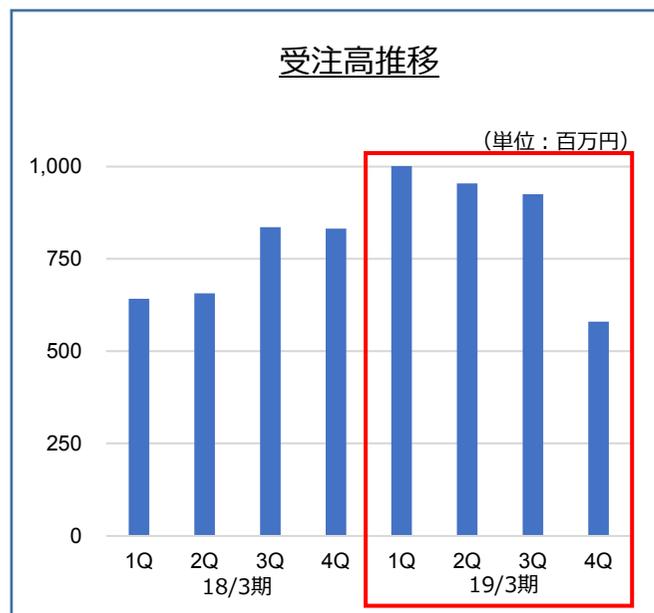
※2.戦略的投資 = 研究開発費

プロセス事業

- 受注高、売上高、利益が前期比上回る
- 注力製品の位置制御、計測装置の受注高増加

(単位：百万円)

	18/3期		19/3期		増減率	
	実績	計画	実績	計画	前期比	計画比
受注高	2,964	3,050	3,535		+19%	+16%
売上高	2,663	3,000	2,862		+7%	▲5%
セグメント利益	539	600	671		+24%	+12%
セグメント利益率	20.3%	20.0%	23.5%		-	-
受注残高	1,468	1,518	2,141		+46%	+41%

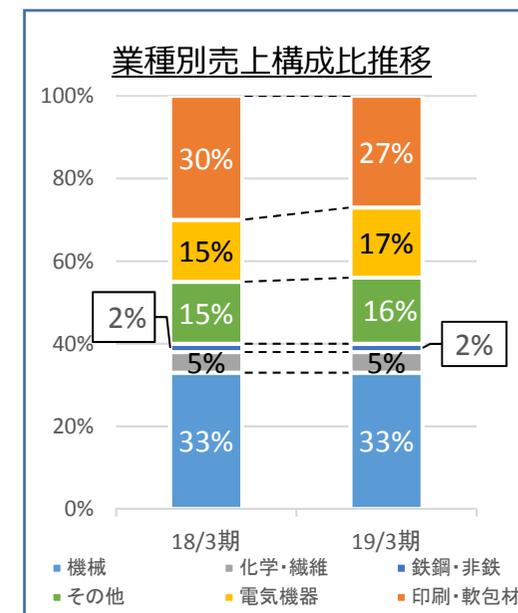
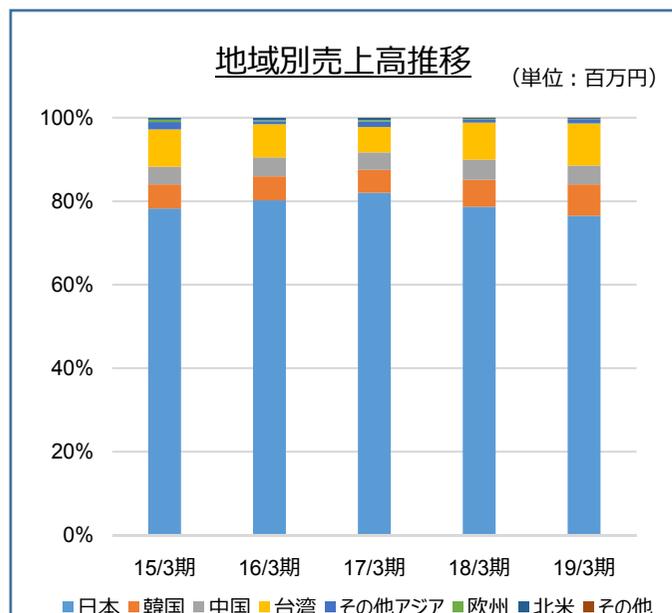
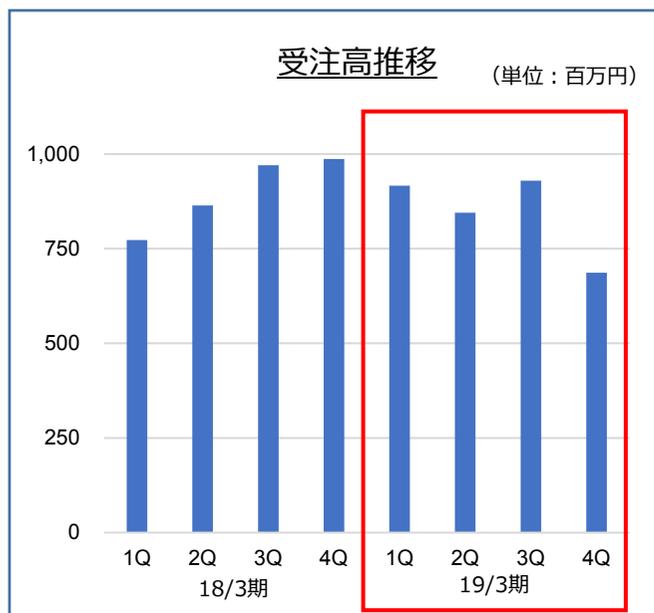


ウェブ事業

- 売上高、利益が前期比上回る
- 二次電池、電子部品向けに位置制御装置が堅調推移

(単位：百万円)

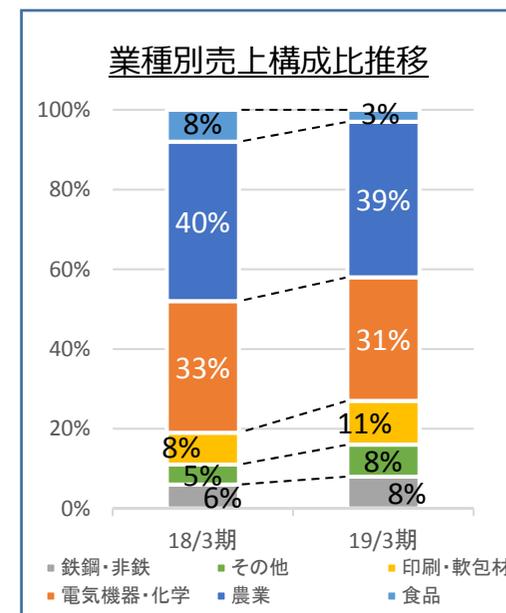
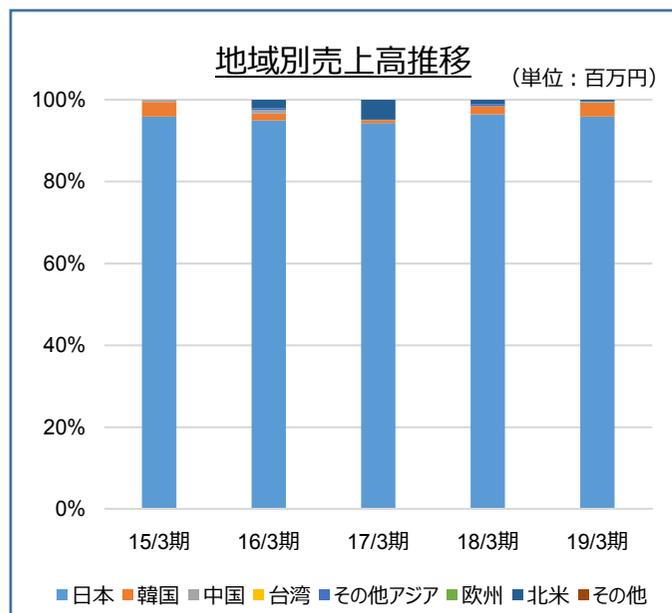
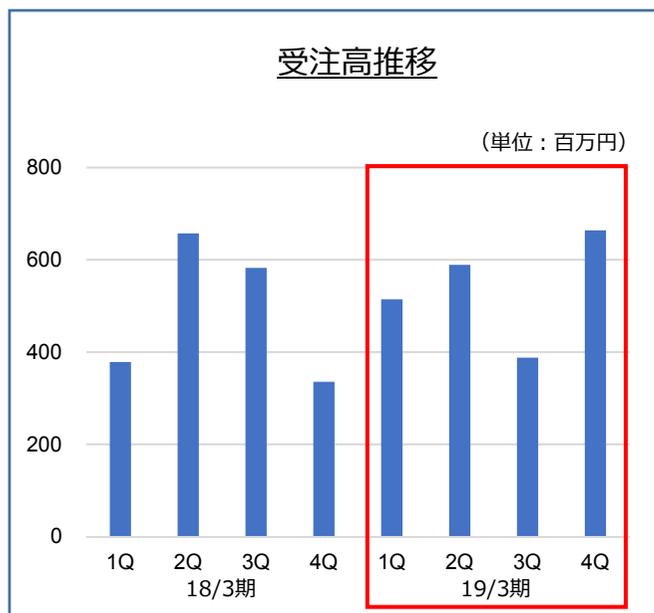
	18/3期		19/3期		増減率	
	実績	計画	実績	計画	前期比	計画比
受注高	3,593	3,400	3,376		▲6%	▲1%
売上高	3,354	3,400	3,463		+3%	+2%
セグメント利益	786	800	842		+7%	+5%
セグメント利益率	23.4%	23.5%	24.3%		-	-
受注残高	834	834	748		▲10%	▲10%



検査機事業

- 無地検査装置が受注高、売上高で前期比を上回るも積極投資に伴うコスト増により収益悪化
- 選果装置は更新需要一巡、加工食品向け引き合い増 (単位：百万円)

	18/3期		19/3期		増減率	
	実績	計画	実績	計画	前期比	計画比
受注高	1,952	1,950	2,154		+10%	+10%
売上高	1,714	1,900	1,896		+11%	▲0%
セグメント利益	156	160	72		▲54%	▲55%
セグメント利益率	9.1%	8.4%	3.8%		-	-
受注残高	629	679	910		+45%	+34%

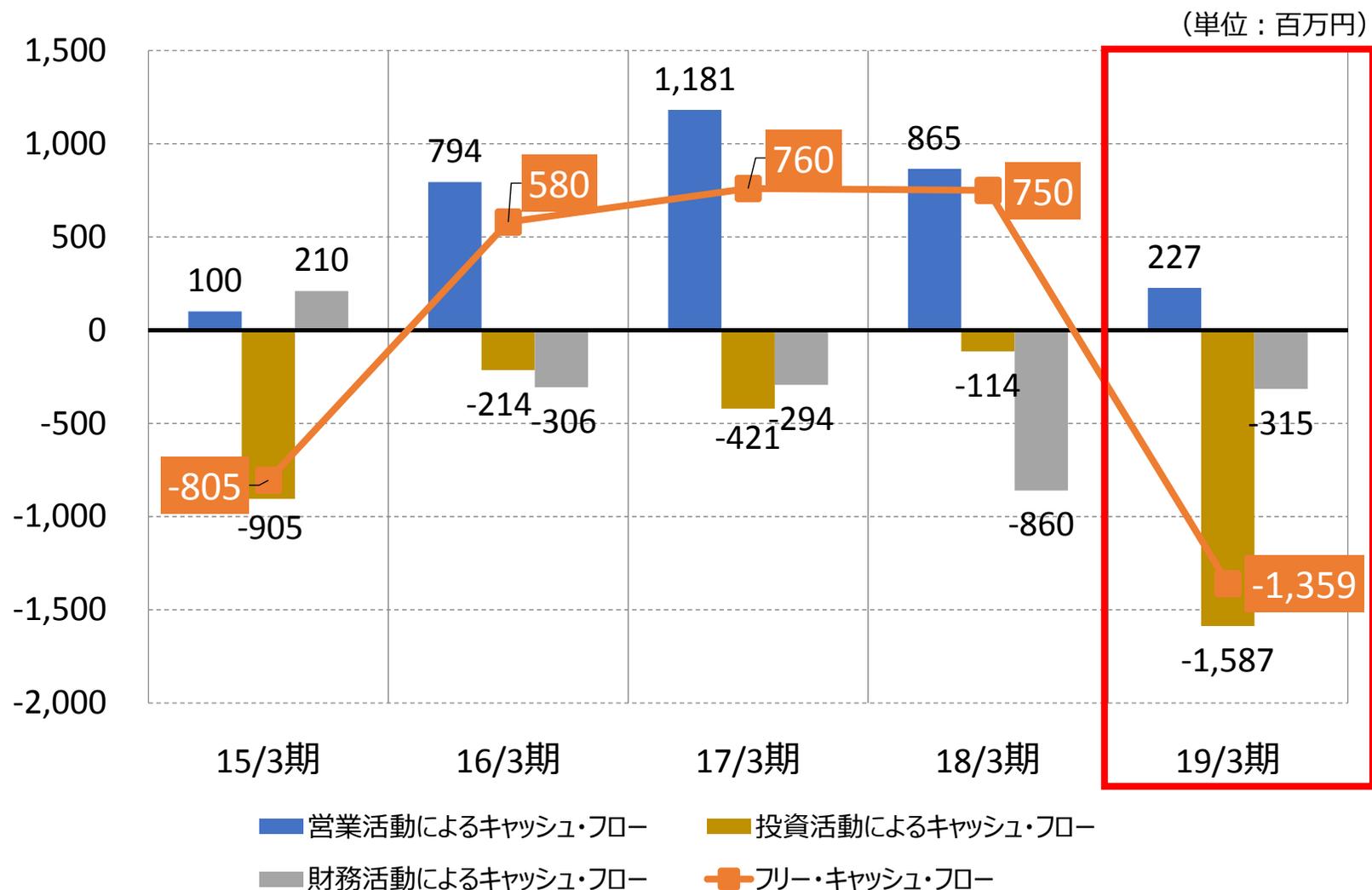


貸借対照表

(単位：百万円)

	18/3期		19/3期		前期末比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
現金・預金	5,180	36.5%	4,990	35.6%	▲ 190
売上債権	3,066	21.6%	3,280	23.4%	+ 214
棚卸資産	1,626	11.4%	1,896	13.5%	+ 270
その他流動資産	115	0.8%	338	2.4%	+ 223
流動資産	9,988	70.3%	10,506	75.0%	+ 518
有形固定資産	2,002	14.1%	1,919	13.7%	▲ 83
無形固定資産	372	2.6%	133	1.0%	▲ 239
投資その他資産	1,848	13.0%	1,454	10.4%	▲ 394
固定資産	4,223	29.7%	3,506	25.0%	▲ 717
資産合計	14,211	100.0%	14,012	100.0%	▲ 199
買入債務	405	2.9%	392	2.8%	▲ 13
その他流動負債	1,066	7.5%	1,068	7.6%	+ 2
流動負債	1,471	10.4%	1,460	10.4%	▲ 11
固定負債	142	1.0%	61	0.4%	▲ 81
負債合計	1,614	11.4%	1,521	10.9%	▲ 93
純資産合計	12,597	88.6%	12,490	89.1%	▲ 107
負債・純資産合計	14,211	100.0%	14,012	100.0%	▲ 199

キャッシュ・フローの状況



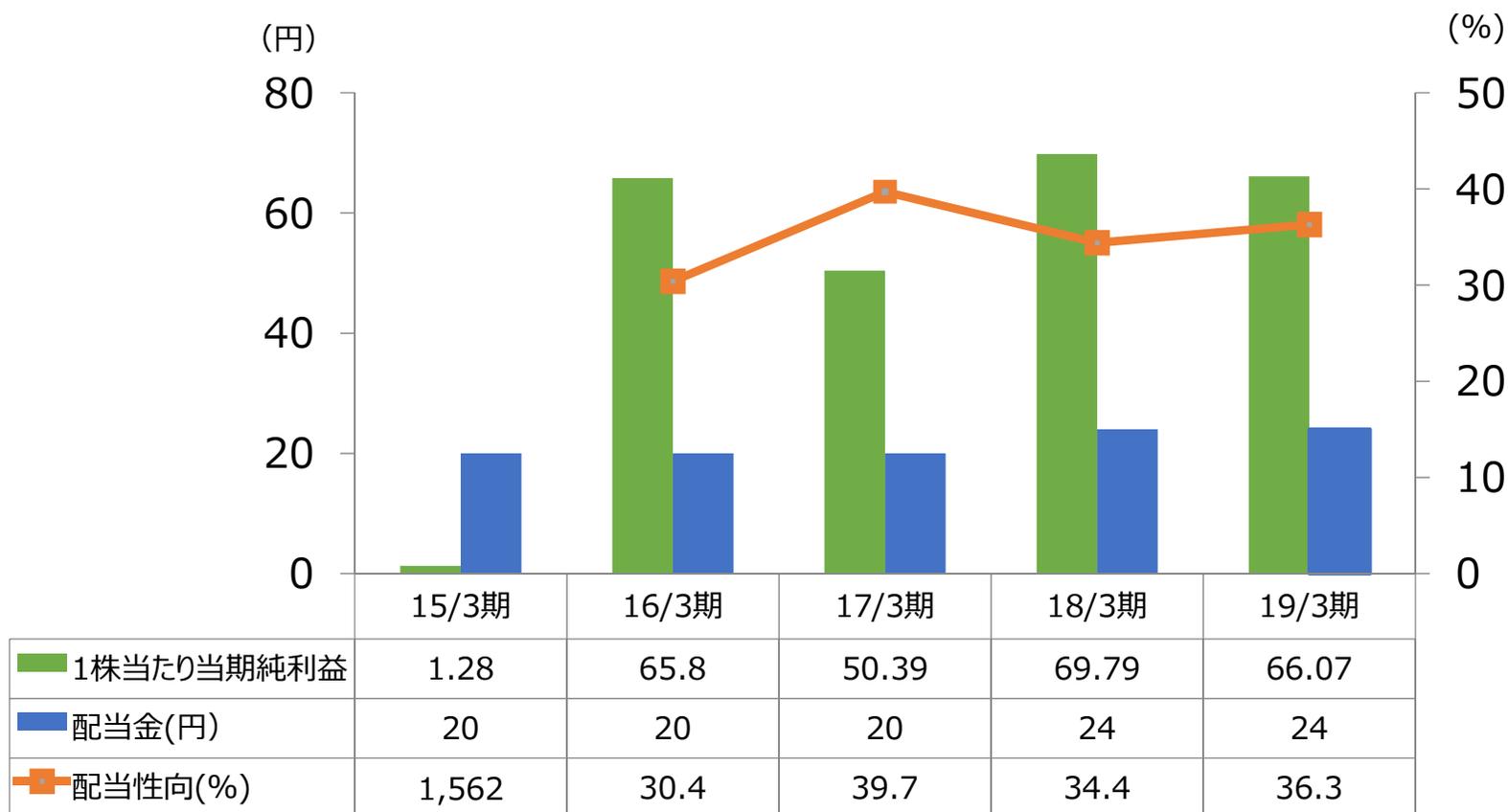
19/3期概況

営業活動によるキャッシュ・フロー：売上債権、棚卸資産、その他流動資産の増加(-736百万円)

投資活動によるキャッシュ・フロー：定期預金の預入 (-2,516百万円)

株主還元について

〈基本方針〉 安定配当の維持を基本に連結配当性向目標35%



2019年2月に11万株、1億円を上限とした自己株買付を決議（5月買付完了）
 今後も柔軟かつ機動的な株主還元策を推進

2. 今期計画 (2019/4 – 2020/3)

今期計画

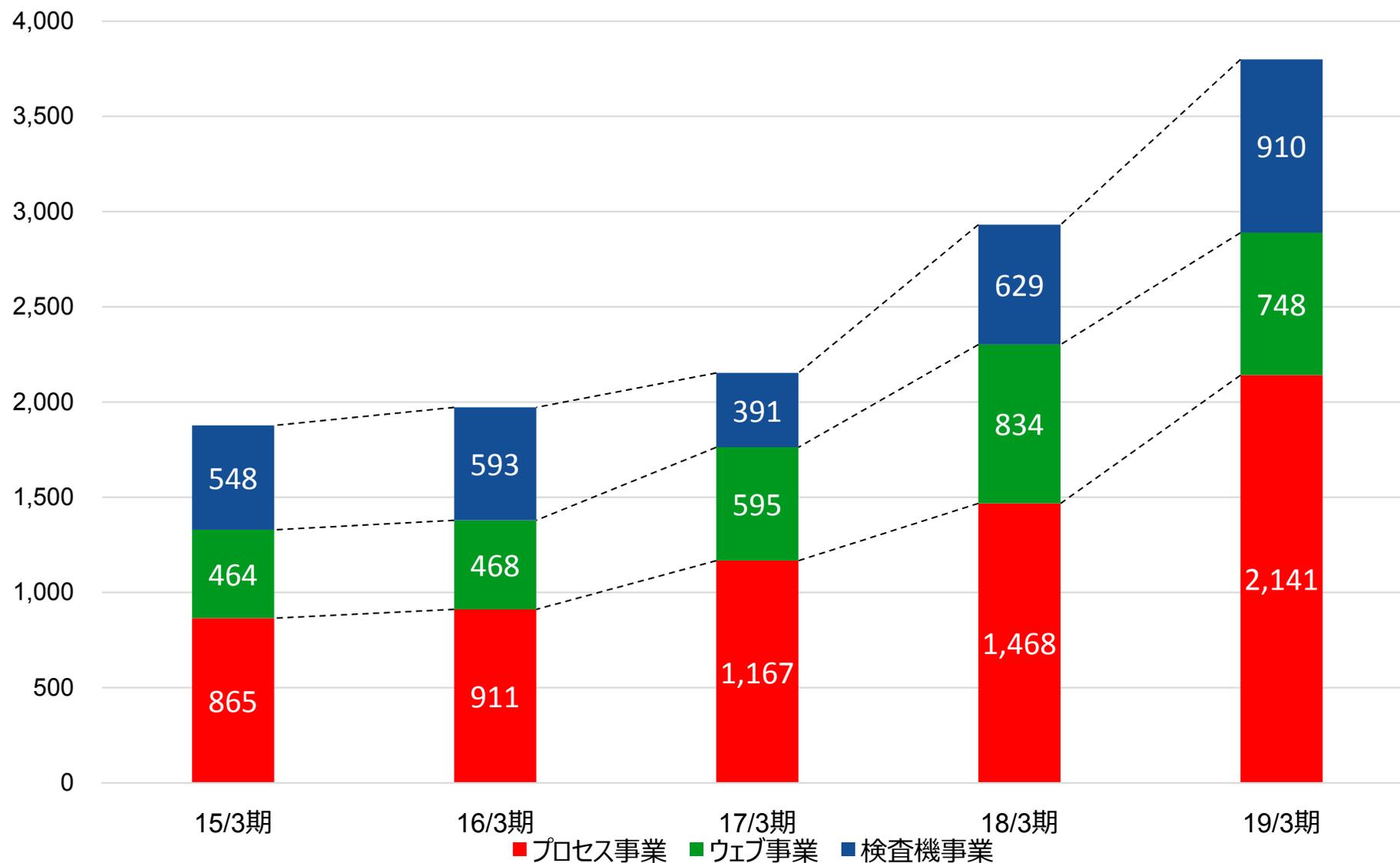
- 受注残高は高水準
- 経常利益率は11%台へ

(単位：百万円)

	19/3期 実績	20/3期 計画	増減率 実績比
受注高	9,325	9,300	+0%
売上高	8,441	9,000	+7%
営業利益	898	950	+6%
営業利益率(%)	10.6%	10.6%	-
経常利益	1,011	1,050	+4%
経常利益率(%)	12.0%	11.7%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	489	730	+49%
当期純利益率(%)	5.8%	8.1%	-
1株当たり当期純利益(円)	66.07	98.46	+49%
受注残高	3,824	4,124	+8%

受注残高状況推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：プロセス事業

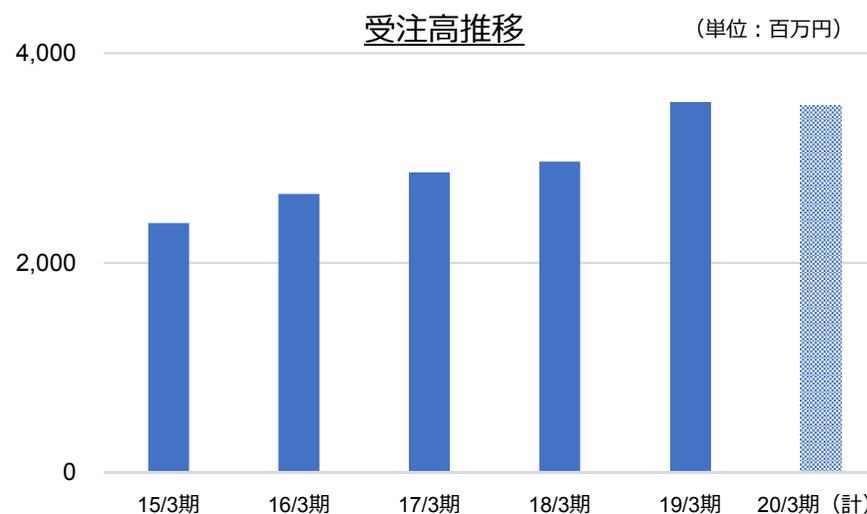
国内鉄鋼市場

- 競争力強化のための設備投資に注力
- ↓
- 品質、生産性向上に資する製品の販売に注力
 - 新規開拓を目指す計測システムの受注拡大

	19/3期 実績	20/3期 計画
受注高	3,535	3,500
売上高	2,862	3,300
セグメント利益	671	750
セグメント利益率	23.5%	22.7%

海外鉄鋼市場

- 先行きに不透明感はあるものの、中国、北米、韓国では老朽設備の更新需要は継続
- ↓
- 海外子会社、現地代理店を活用し中国、北米、韓国を中心にシェア拡大に注力
 - 海外向け製品開発に注力



対象市場の状況と施策：ウェブ事業

国内市場

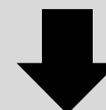
- 二次電池、電子部品向け引き合いは今後も一定水準で推移
- 機械メーカーは高機能フィルム向けを中心に設備投資堅調



- 機械メーカーへの対応スピードアップのために設計・生産体制を構築

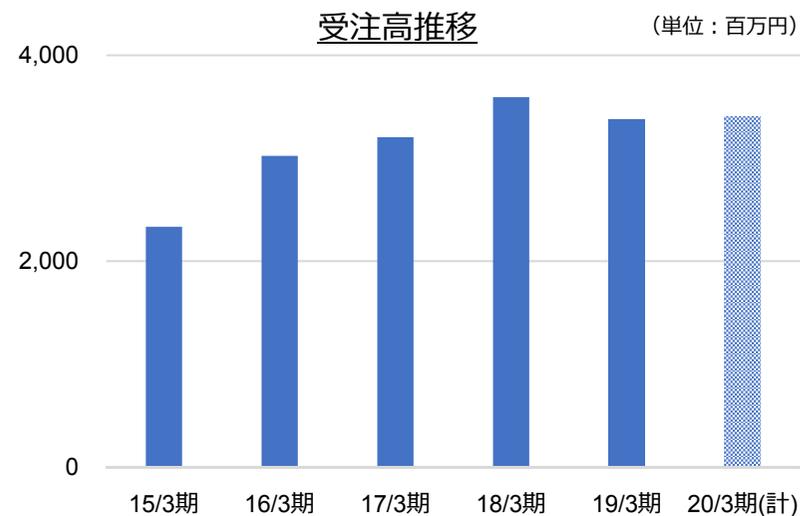
海外市場

- 中国・韓国・台湾の二次電池、電子部品向け引き合いは今後も一定水準で推移



- 台湾、中国子会社及び韓国代理店を中心に東南アジアへの販売ネットワーク強化

	19/3期 実績	20/3期 計画
受注高	3,376	3,400
売上高	3,463	3,400
セグメント利益	842	800
セグメント利益率	24.3%	23.5%



対象市場の状況と施策：検査機事業

高機能フィルム市場

- 二次電池、電子部品向け堅調な設備投資
- ニーズの多様化



- 無地検査装置の更なる市場拡大
- 次世代検査装置を今期中に市場投入

食品市場

- 個食化、食の安全意識の高まりにより新たな加工食品検査ニーズが増加

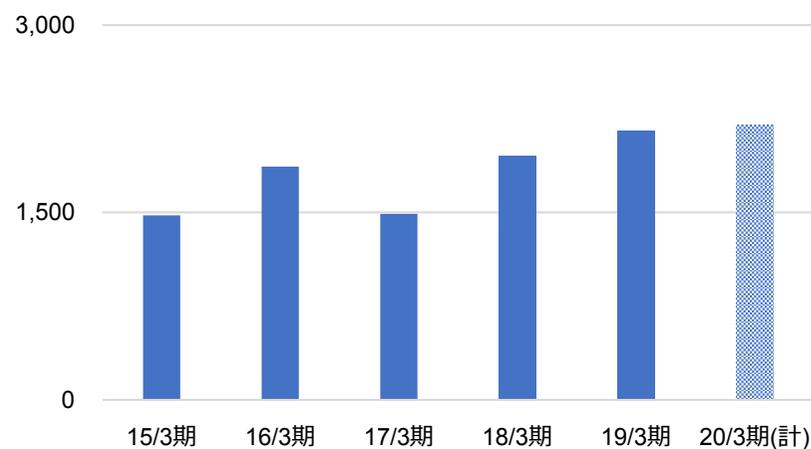


- 新たな加工食品検査ニーズへの対応強化
- 選果装置の海外市場開拓に向けたマーケティング

	19/3期 実績	20/3期 計画
受注高	2,154	2,200
売上高	1,896	2,100
セグメント利益	72	100
セグメント利益率	3.8%	4.8%

受注高推移

(単位：百万円)

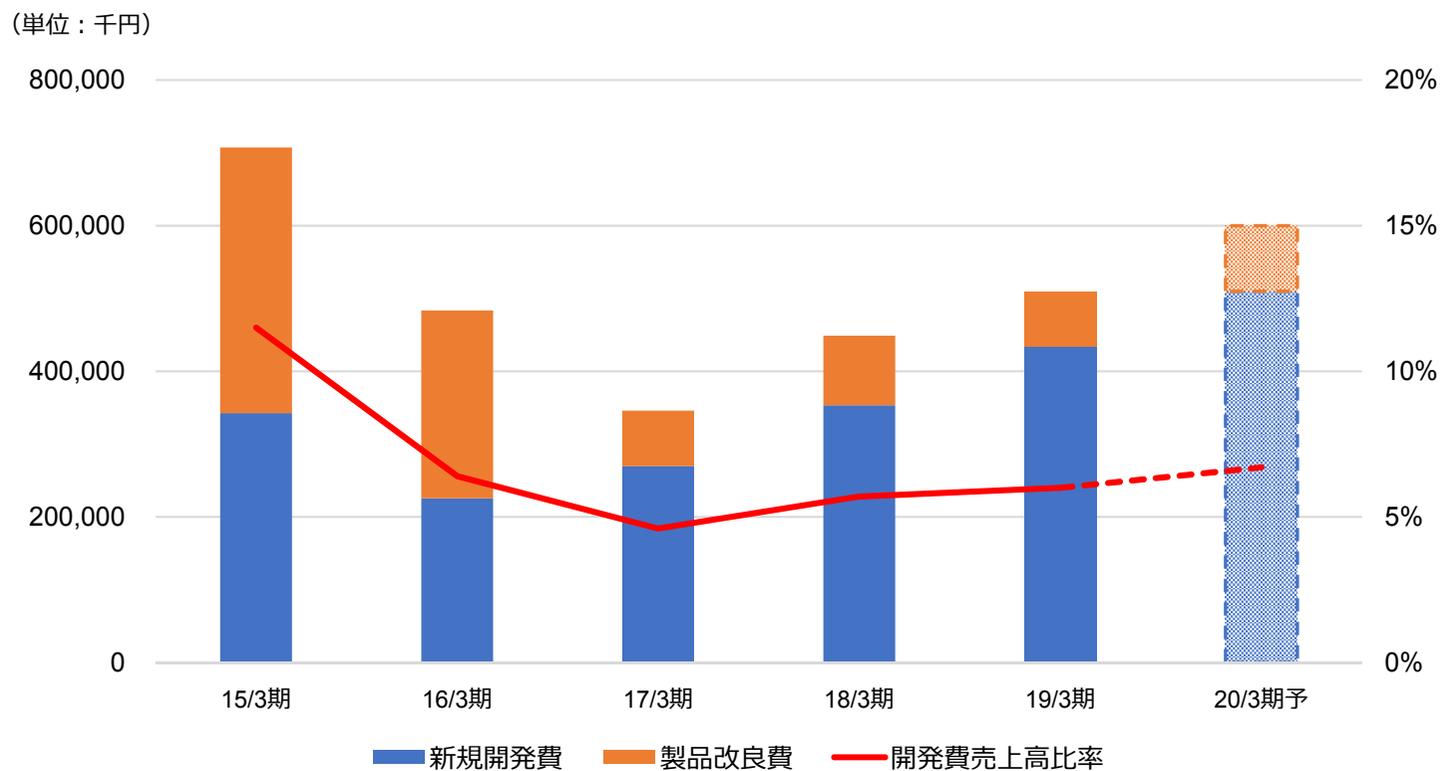


R&D

- 新たな収益源の創出に向けて新規開発案件への取組み強化継続

主な開発テーマ

- 次世代検査機の開発
- レーザー技術による製品開発
- 磁界、マイクロ波技術による製品開発



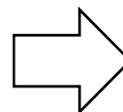
3. 持続的成長に向けて

持続的成長に向けた重点テーマ

いかなる環境下においても成長できる体制の実現

市場の拡大

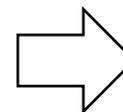
- 海外展開の推進強化
- 検査機事業の強化
- 新製品開発による新事業分野の開拓



事業基盤の拡大強化

技術の進化

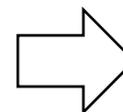
- 磁界、マイクロ波技術による製品開発
- 光学技術による製品開発
- 画像解析技術の高機能化による製品展開



競争優位性の向上

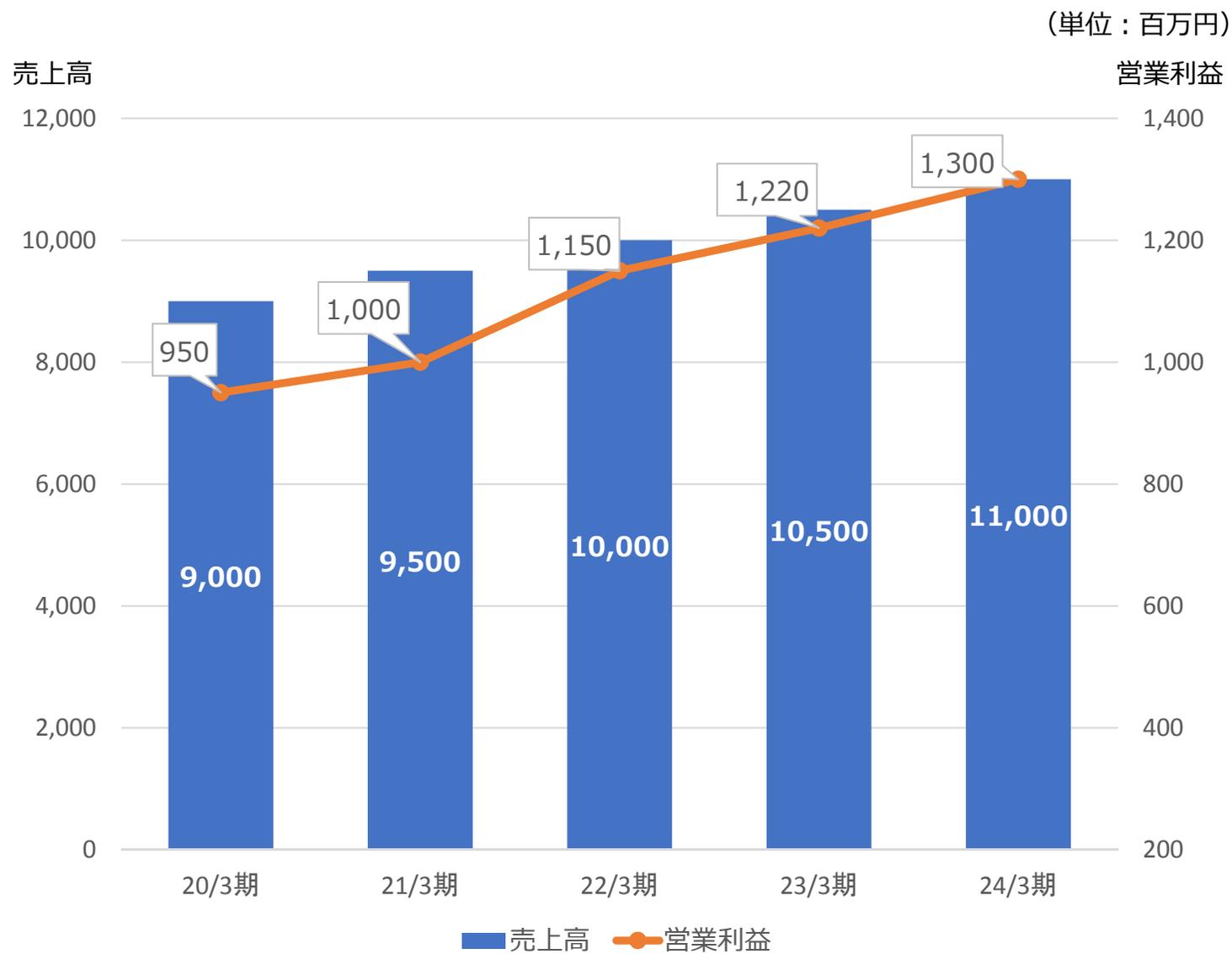
経営体質の強化

- 積極的な成長投資による不足リソースの補完
- グループ連携強化によるシナジー最大化
- 競争力強化のための人的投資、並びにインフラ投資

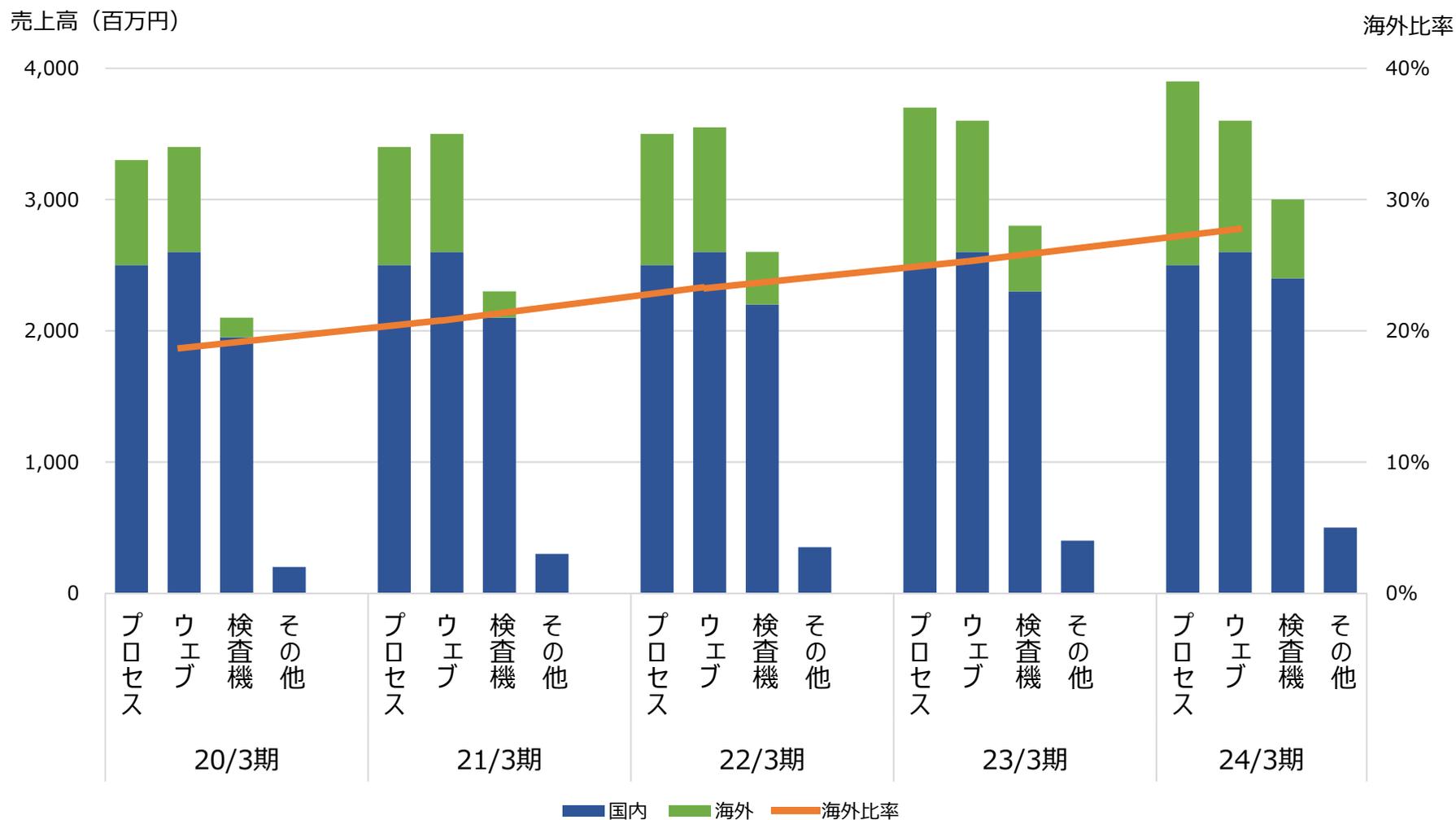


経営基盤の強化

5 年計画



5カ年計画（セグメント別内外売上内訳）



参考資料

会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	久保田 寿治
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
資本金	3,072百万円*
連結従業員数	355名*
連結売上高	8,441百万円*

* 2019年3月期連結ベース

沿革

- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動制御機器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所（現東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に上場
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）
- 2017年 : 株式会社メガオプトを子会社化
- 2018年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.が土地・建物取得し生産体制整備

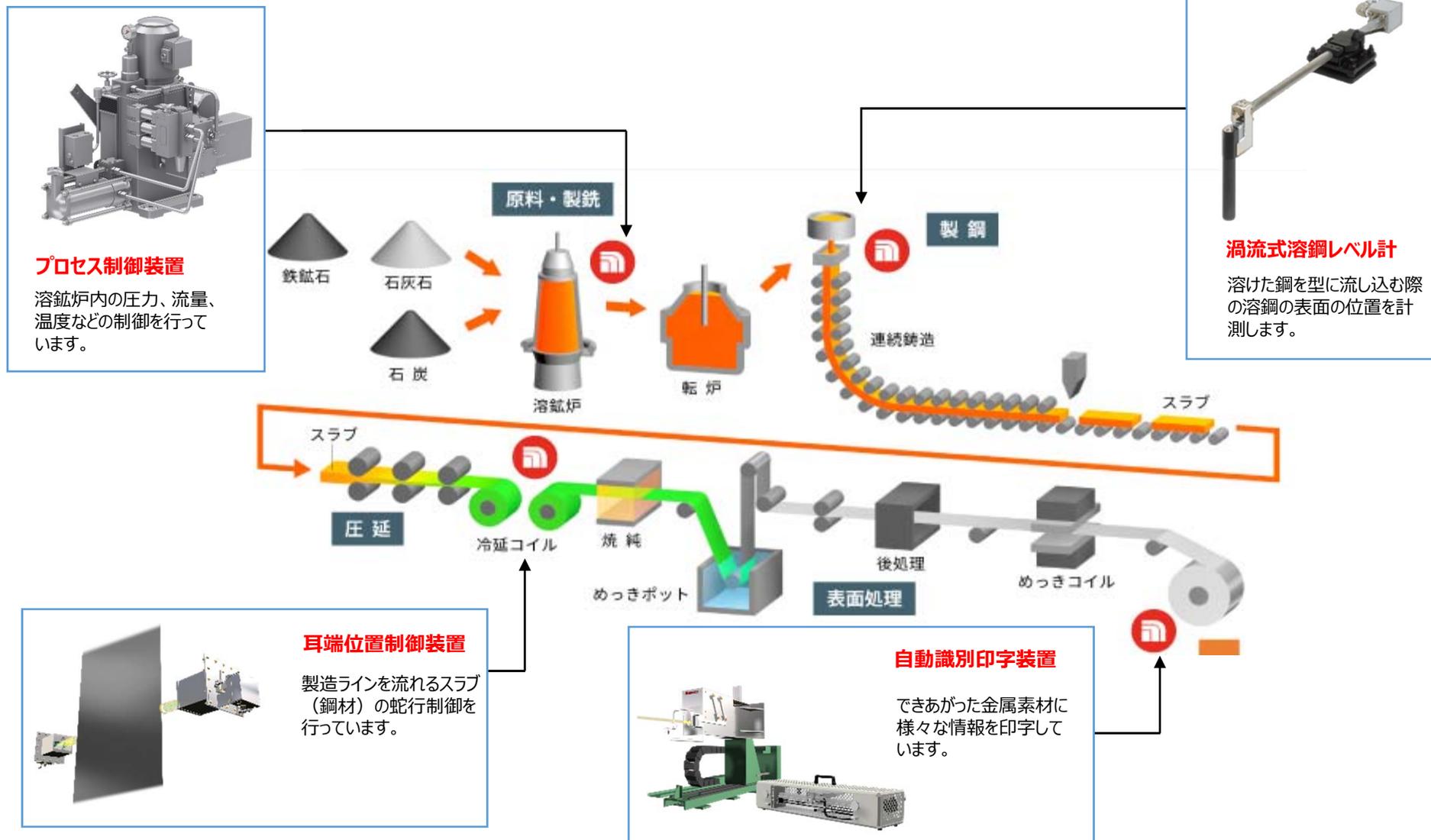
経営理念

「技術と信頼」

われわれは、制御、計測、検査技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。ひいてはパートナーシップにより生み出された価値が広く社会において喜びと感動をもたらす経営を目指します。

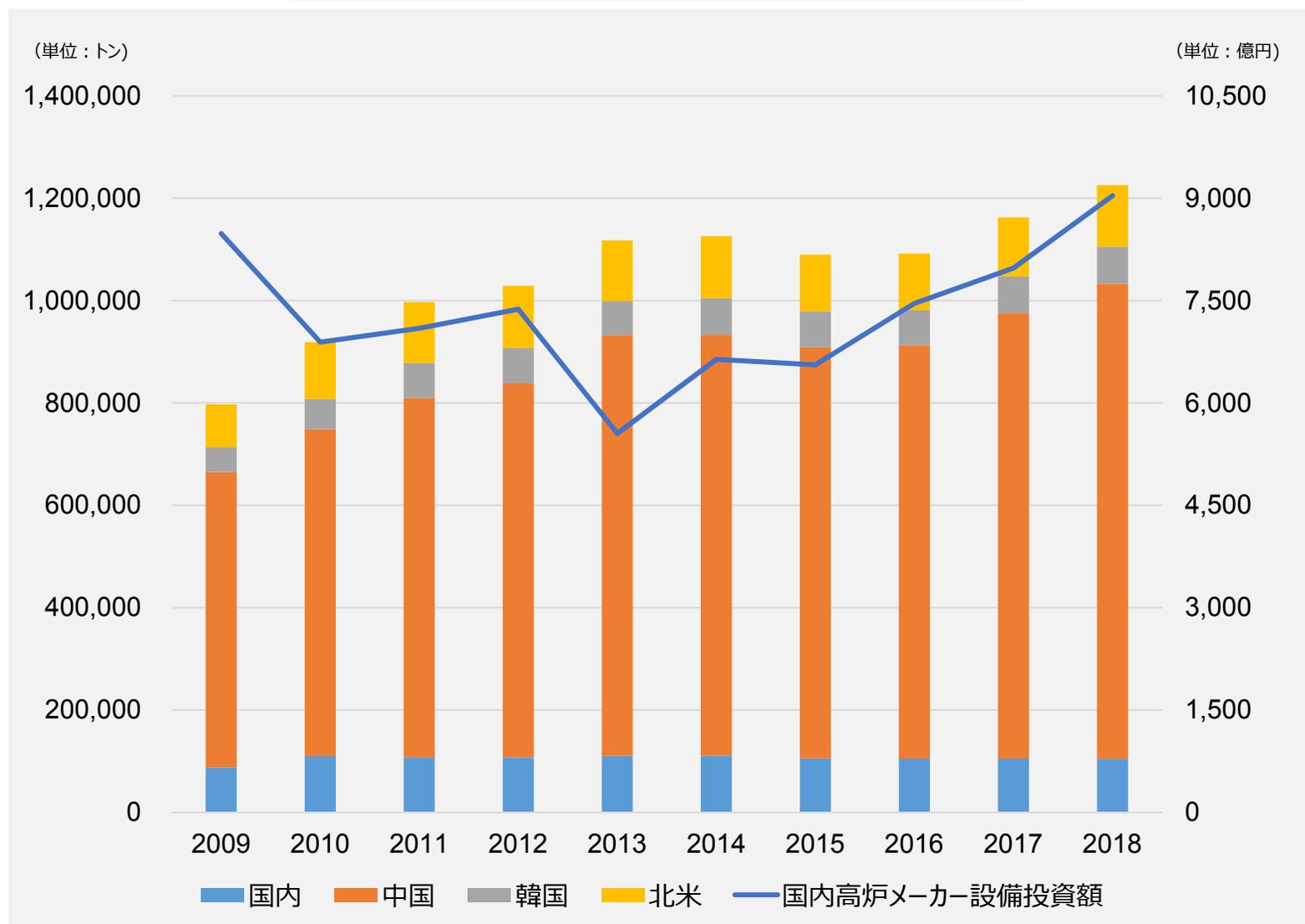
プロセス事業

鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業などあらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



プロセス事業

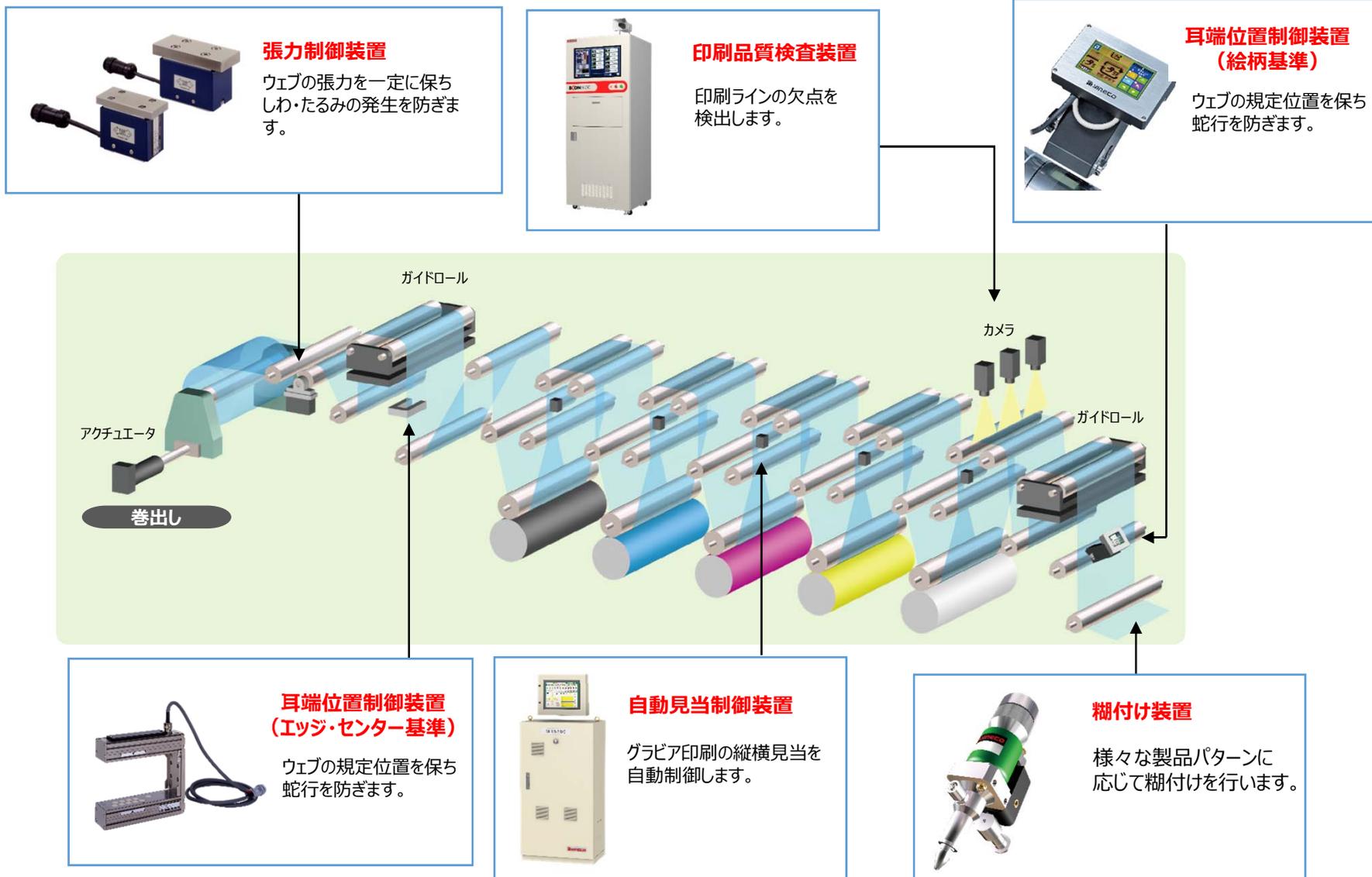
地域別粗鋼生産量及び国内高炉大手設備投資額の推移



[出展：日本鉄鋼連盟]

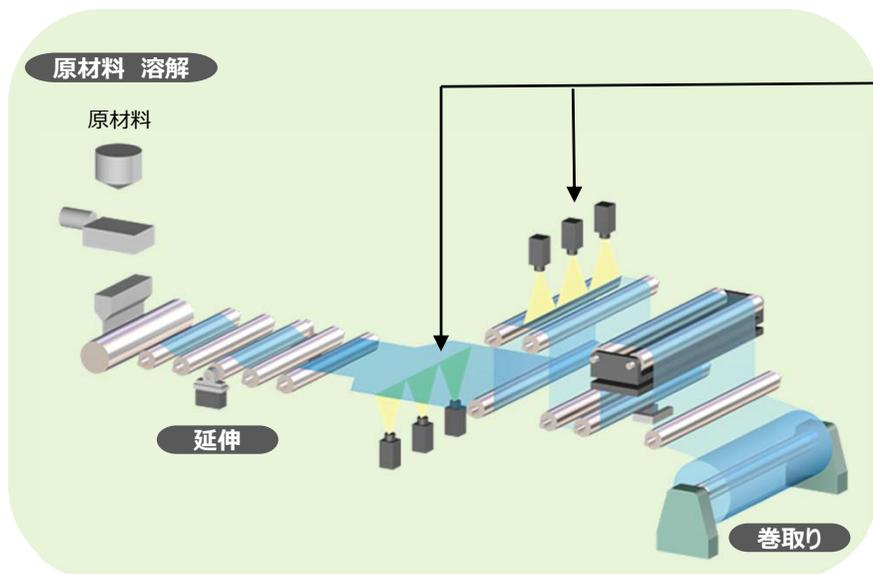
ウェブ事業

主に紙・フィルム・箔など薄いシート状素材（=ウェブ）の位置制御装置などを扱う事業です。



検査機事業

長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。



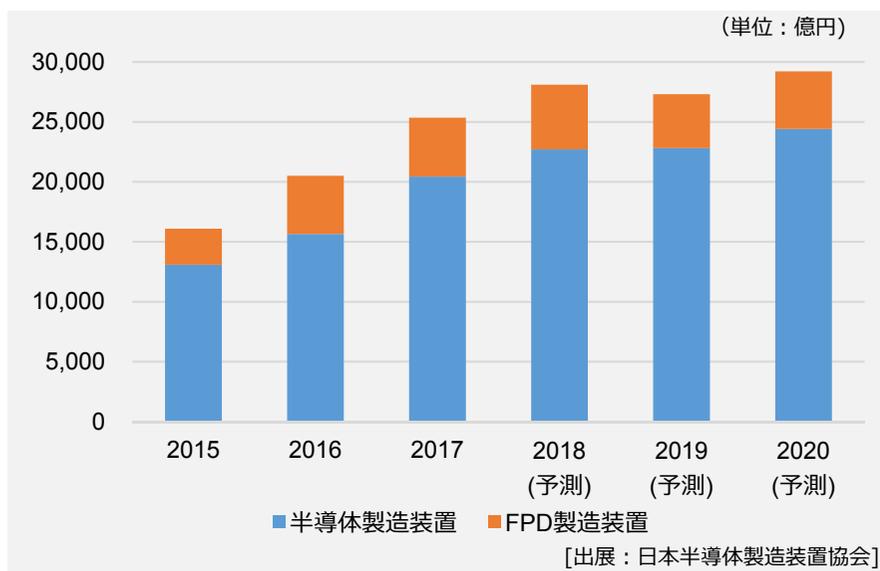
無地検査装置
あらゆる加工現場にて高速搬送されるフィルム、紙、金属といった無地素材の表面欠陥（キズ、汚れ、異物）などを検査します。

選果装置
農産物の品質を外部（キズ、腐敗、サイズなど）、あるいは内部（糖度、酸度）要因から瞬時に非破壊で判別します。

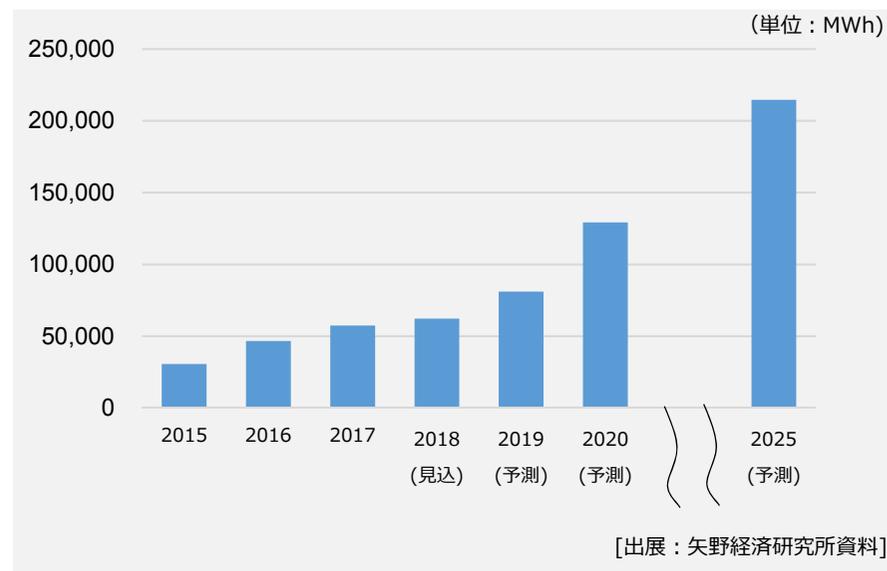


ウェブ事業 検査機事業

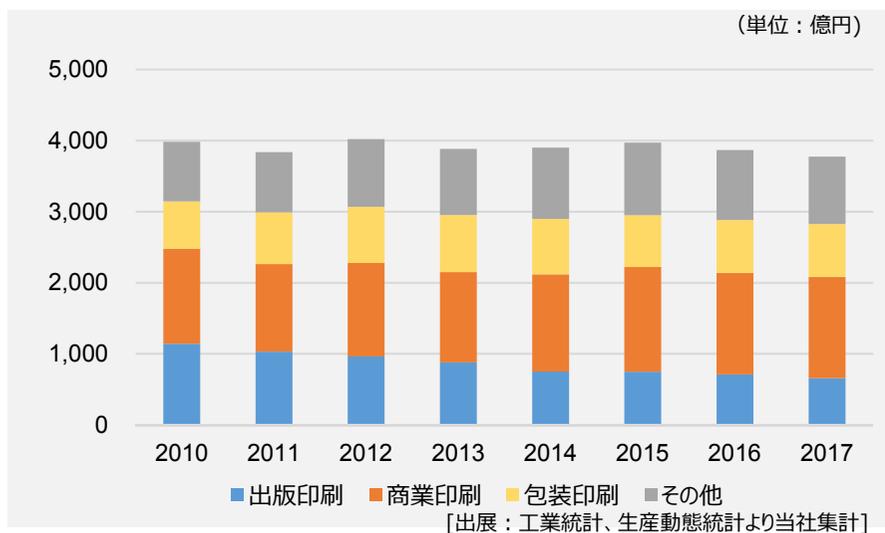
半導体・FPD製造装置需要予測 (対象セグメント：ウェブ・検査)



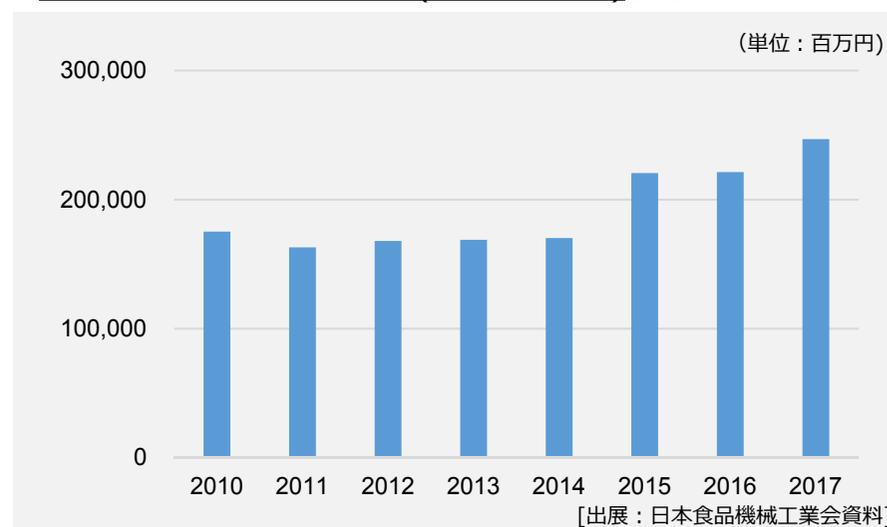
車載用Lib世界市場予測 (対象セグメント：ウェブ・検査)



印刷市場規模の推移 (対象セグメント：ウェブ)



食品機械国内販売額の推移(除、加工機械)(対象セグメント：検査)



E N D